

廃棄物処理建屋間連絡ダクトの 溜まり水調査の状況について

2015年12月18日

東京電力株式会社

廃棄物処理建屋間連絡ダクトの溜まり水調査の状況について

【これまで】

高レベル汚染水が滞留している建屋に接続しているトレンチ等を対象に、年1回点検を実施。

【2015年度の調査進捗状況】

2015年度は、建屋に接続しているトレンチのほか、建屋未接続のトレンチ、5・6号機周辺並びにその他トレンチほかについても点検を実施中。

点検実施済みの設備のうち、廃棄物処理建屋間連絡ダクトについては、溜まり水に含まれる放射性物質濃度（12月3日採水）が2014年度より上昇したことから、原因調査を実施するとともに、対応策を検討中。なお、ダクト内の水位は、ダクト周辺のサブドレン水位より低いため、ダクト内の溜まり水が外部に流出することはないものと推定しているが、監視を強化中。

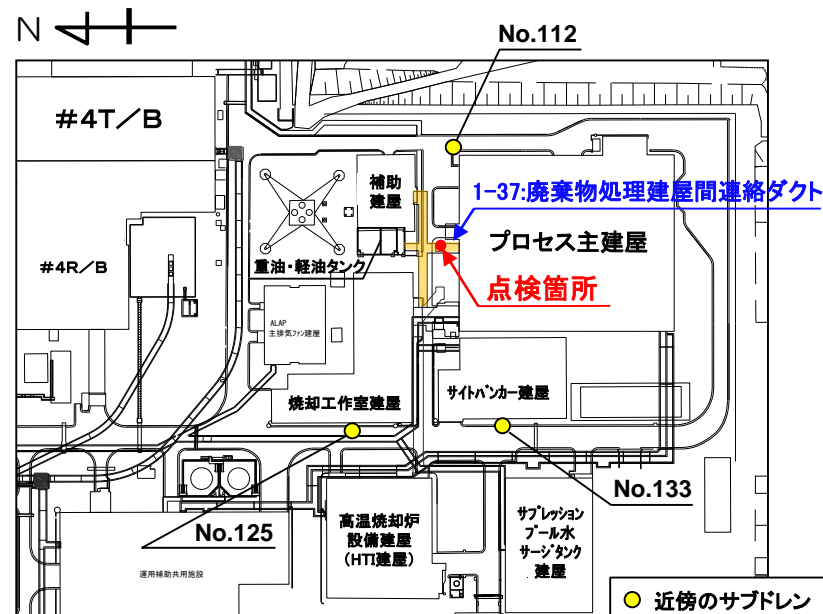
廃棄物処理建屋間連絡ダクトの溜まり水分析結果一覧表

調査実施年度	核種分析結果 (Bq/L)					溜まり水の区分※	概算溜まり水量(m3)
	Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		
2011年度 (2011.12)	1.5×10^2	1.7×10^2	3.2×10^2	データ無し	データ無し	C	150
2012年度 (2012.12)	9.9×10^1	2.0×10^2	3.0×10^2	データ無し	データ無し	C	400
2013年度 (2013.12)	ND	3.9×10^1	3.9×10^1	データ無し	データ無し	C	370
2014年度 (2014.12)	2.7×10^1	9.4×10^1	1.2×10^2	1.2×10^2	3.1×10^2	C	420
2015年度 (2015.12)	9.2×10^4	3.9×10^5	4.9×10^5	5.0×10^5	6.7×10^3	B	480

※溜まり水の区分 (Cs計濃度) A: 10^6 Bq/LLレベル以上 B: 10^5 Bq/LLレベル C: 10^4 Bq/LLレベル以下

廃棄物処理建屋間連絡ダクト・近傍のサブドレン水位(2015.12.3)

測定箇所		水位
廃棄物処理建屋間連絡ダクト		T.P.+6.2m (O.P.+7.5m)
近傍のサブドレン	No.112	T.P.+7.1m (O.P.+8.5m)
	No.125	T.P.+6.8m (O.P.+8.4m)
	No.133	T.P.+7.3m (O.P.+8.7m)
プロセス主建屋(参考)		T.P.+3.3m (O.P.+4.7m)

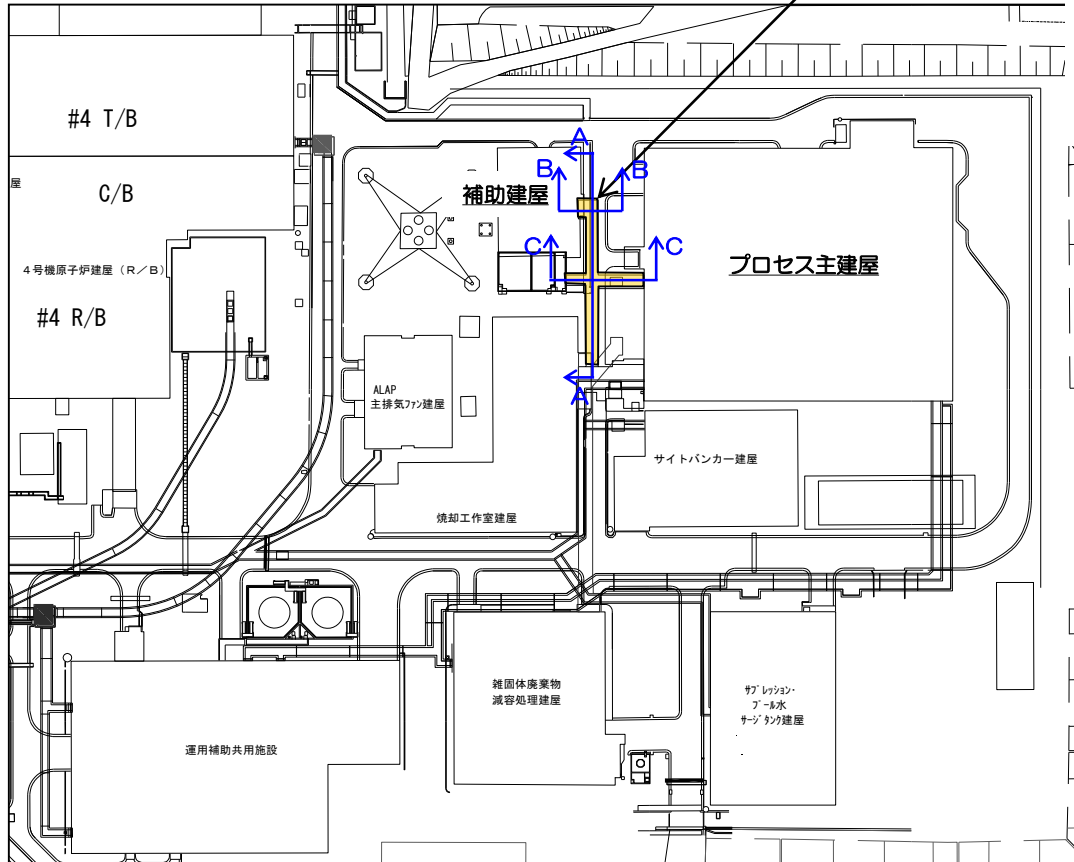


廃棄物処理建屋間連絡ダクト点検箇所位置図

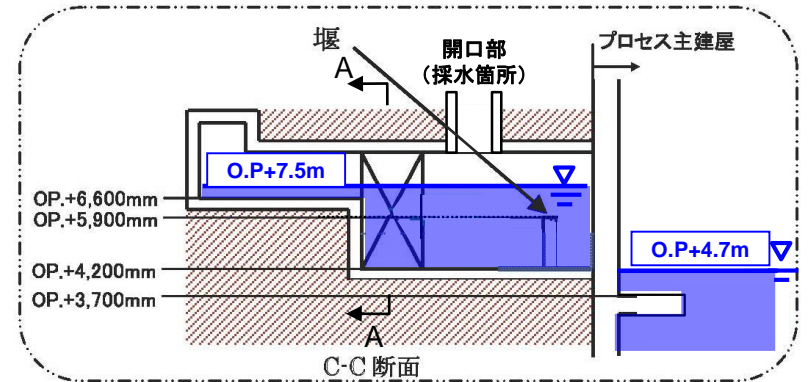
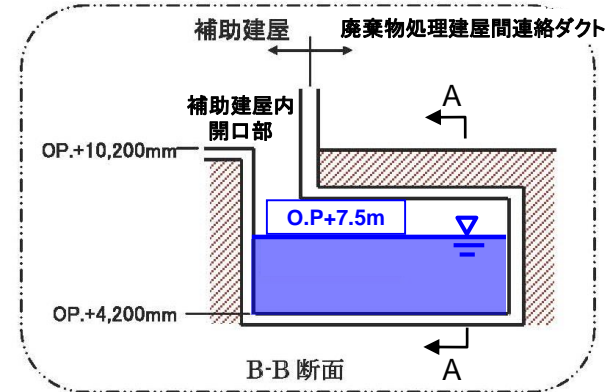
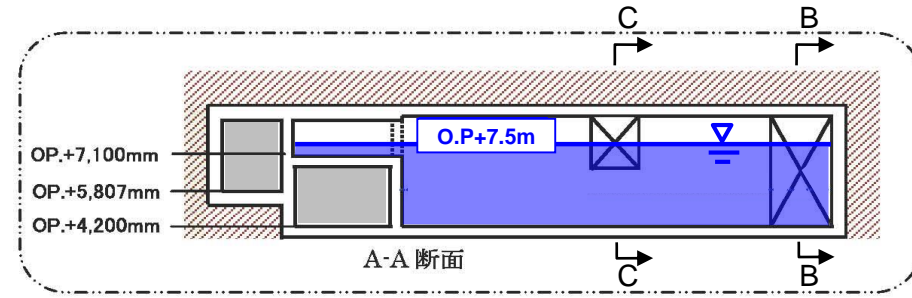
廃棄物処理建屋間連絡ダクトの構造・溜まり水の水位



廃棄物処理建屋間連絡ダクト



廃棄物処理建屋間連絡ダクト周辺概要平面図



※水位は2015.12.3時点